

施策評価管理シート

施策体系	政策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち	2018(平成30)年6月作成	
	基本施策	2	保健・医療・福祉のネットワークづくり	担当部局名	部局長名
	施策	3	地域医療	福祉子ども部	森嶋 和宏

1. 施策の基本方針 Plan

○ 市立病院を核とする地域医療機関との機能分担と連携を強化して、安心して信頼できる地域医療体制を構築します。
 ○ 伊賀地域における安心して安定した救急医療体制を確立するため、関係機関と連携しながら地域内の病院機能の分担と連携の強化をさらに進めます。

2. 現状と課題 Plan

- 限られた医療資源を効率的かつ効果的に機能させることが必要です。
- 小児救急医療については、引き続き「24時間365日」の受入れを実施するために現在の医療体制の規模を維持します。
- 産婦人科開設については、現在三重県と増床に向けた許可病床の申請について協議中であり、協議が整い次第、整備スケジュールを確定していきます。

○ 施策指標（目標）及び達成状況 Plan Do

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H26)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	進捗率
地域医療機関（開業医や公立病院等）での現在の医療体制に満足している市民の割合（%）	目標	-	-	-	50.5	
	成果	47.0	52.8	48.8		51.4%
かかりつけ医を決めている人の割合（%）	目標	-	-	-	85.0	
	成果	77.5	80.3	77.7		2.7%
地域医療機関等から市立病院への紹介件数（件/月）	目標	-	-	-	554	
	成果	513	536	527		34.1%
市立病院から地域医療機関等への紹介件数（件/月）	目標	-	-	-	529	
	成果	490	489	526		92.3%

3. 課題解決への取組内容（平成29年度） Plan Do

計 画	実績及び主な成果
<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携しながら、伊賀地域の医療体制の整備に努めます。 小児救急医療については、小児科常勤医師の派遣元である関西医科大学をはじめ、救急応援医師の派遣元大学との協力関係の維持に努めます。 産婦人科開設については、県との協議を重ね、1日でも早く許可病床数を確定させ、国へ申請するよう取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療構想調整会議に出席し、伊賀地域の医療体制について協議しました。 関西医科大学小児科学教室の協力により、小児科医師5名が常勤しています。また、平成26年1月開設の「小児救急医療センター」に24時間365日の小児救急を継続しています。 県、医師会、伊賀地域の産婦人科医に説明を行い、伊賀地域医療構想調整会議において、産科の特例病床の増床の必要性について協議しました。

4. 成果を踏まえた課題や現状 Check

- 限られた医療資源を効率的かつ効果的に機能させることが必要です。
- 小児救急医療については、引き続き「24時間365日」の受入れを継続するため、現在の医療体制を維持していく必要があります。
- 産婦人科の特例病床の増床にかかる関係機関との調整が必要です。

5. 課題解決への取組内容（平成30年度） Action

- 関係機関と連携しながら、伊賀地域の医療体制の整備に努めます。
- 小児救急医療については、小児科常勤医師の派遣元である関西医科大学をはじめ、救急応援医師の派遣元大学との協力関係の維持に努めます。
- 産婦人科開設については、特例病床の増床に向けて県に理解を求めるとともに、引き続き、大学病院や地域の産婦人科と協議を行います。

6. 行政評価委員会による総合評価 Check

市立病院について、医師確保に努めるとともに、病床稼働率の向上など、経営改善に取り組むこと。